

## 「総合防犯設備士の魅力」

公益社団法人 日本防犯設備協会  
総合防犯設備士委員会 委員長  
ヒビキセキュリティ株式会社 代表取締役

高尾 祐之



### 信頼のブランド“総合防犯設備士”

警視庁生活安全部が主催する生活安全課の警察官を対象とした「防犯実務研修」は、毎年1週間の日程で開催されます。部外講師15名のうち8名が“総合防犯設備士”です。2023年度に“総合防犯設備士”が担当したコンテンツは、「建築設計及び建築法規の概要」、「犯罪未然防止の方程式」、「錠前の基礎知識」、「侵入手口の実例と対応対策」、「役に立つ防犯カメラ」、「防犯設備設計実習」、「防犯設備士・総合防犯設備士との連携」などです。

また、私が所属する地域協会、NPO法人 東京都セキュリティ促進協力会（略称：東セ協）では、警視庁から委嘱されている「警視庁建物防犯協力員」による各種防犯講話、防犯機器展示・説明、万引き防止モデル店舗審査、各種防犯イベント、防犯診断などで地域社会の防犯力強化の一翼を担っています。そこでも中心となるリーダー的存在は、“総合防犯設備士”有資格者です。

デジタル社会が進み、新手の詐欺や偽情報、誤情報がはびこる時代となりました。「それは信用できることなのか？」あるいは「その人は信頼できるのか？」ということが、モノを買う側やサービスを受ける側の判断材料として重要度を増していく世の中となりました。

各地で活躍する“総合防犯設備士”は、それぞれの得意分野で地域社会に存在感を示し、認知され、地道ですが確実に信頼度を高めています。

### 総合力で、防犯力強化

総合防犯設備士委員会では、「総合力で、防犯力強化。」という総合防犯設備士スローガンを2023年度に掲げました。総合防犯設備士は、総合力で、様々な防犯課題を解決する防犯対策の専門家です。これを「総合防犯ソリューション」と呼称し、総合防犯設備士の特長の一つに位置付けました。

2024年度改訂版「総合防犯設備士テキスト」では、総合防犯ソリューションについてのコンテンツを新たに追加しました。総合防犯設備士が行う防犯コンサルティングの軸になる総合防犯ソリューションの実践的な考え方をまとめています。防犯（犯罪抑止）に関する依頼主の要望や顕在的な課題及び潜在的な課題を解決するための主な能力が、総合防犯ソリューション3要素（分析力・洞察力・構想力）です。

依頼主が気づいていない課題や本質的な課題を見抜く洞察力の“ものさし”となる「犯罪未然防止の方程式」は、犯罪機会論を中心とした判断基準です。この判断材料を軸にすると、あらゆる犯罪の抑止対策に応用が利き、総合防犯設備士として幅が広がります。そのうえで防犯対策を具体的に講じるには、「防犯環境3要素」（運用管理・環境整備・防犯設備）を組み合わせ、総合力で依頼主の防犯力を強化していくことが肝要だという内容を追加しました。

総合防犯設備士の様々な活動や現場実務で大いに役に立つことでしょう。

## 総合力を、ブラッシュアップ

一般の人から「防犯設備士と総合防犯設備士はどう違うの?」と、聞かれることがあります。その度に私は「防犯設備士は防犯設備の専門家。総合防犯設備士は防犯対策の専門家。」と答えています。

総合防犯設備士の特長の一つに「総合力」があります。

総合防犯設備士テキストによると、「総合力は、防犯の理論に関する専門知識と経験、現状分析力、応用力、本質的課題を見抜く洞察力、防犯対策の構想力、リーダーシップとマネジメント力」と記載されています。この他にもコミュニケーション能力や人的ネットワークなども「総合力」の重要な要素でしょう。

私たちが関わるフィジカル(物理的)空間を対象にした防犯対策をフィジカルセキュリティといい、インターネットなどのサイバー空間を対象にした犯罪対策をサイバーセキュリティといっています。これらが高度に融合した社会を対象としたサイバーフィジカルセキュリティ(CPS)という言葉も生まれています。

時代は刻々と変化し、デジタル社会ゆえの新たな犯罪も次々と発生しています。私たち総合防犯設備士は、様々な防犯課題解決の一翼を担ううえで、日々、「総合力」に磨きをかけていかなければなりません。

## 新たな価値の創出、新たな船出

2023年度、総合防犯設備士委員会では、総合防犯設備士制度の見直しをいくつか討議してきました。総合防犯設備士受験資格の見直しや科目合格制度の導入、総合防犯設備士資格更新方式の追加や総合防犯設備士を対象としたスキルアップセミナーの新設、及び総合防犯設備士テキストの改訂などです。

2024年度はそれらを実行に移し、総合防犯設備士の新たな価値の創出に取り組んでいきたいと思います。

「総合防犯設備士資格は、“防犯設備関係”の認定資格としては国内最高ランクのもの」と新しい総合防犯設備士テキストに記載されています。しかし私は、この立ち位置に満足はしていません。

私の願いは、総合防犯設備士資格が“防犯設備関係”という領域を超えて“防犯業界”の最高ランクの資格として世の中に認知されることです。私たち総合防犯設備士は、防犯設備の専門家という強みを持ちながら、総合力で、様々な防犯課題を解決する防犯対策の専門家という顔を持っています。

だから次のステージも、夢ではないと思っています。